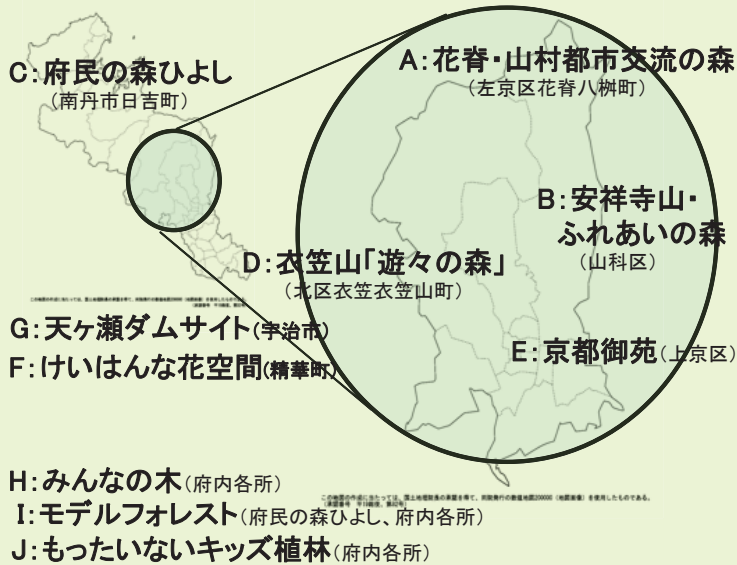


# 京都森林インストラクター会の 主な活動拠点

## 森林インストラクターとは・・・

森林インストラクターとは、社団法人全国森林レクリエーション協会が実施する資格試験に合格し、同協会に登録された「森林インストラクター」の資格を持つ人の称号です。この資格制度は平成3年度に農林水産大臣認定試験として発足しました。有資格者は、森を利用する一般の人々に対して森林と林業についての知識を伝え、森林の案内や森林内での野外活動の指導と育成を行い、森林の総合的な利用、山村と林業の活性化に役立つことを目的として活動しています。

## 当会の主な活動紹介



当会設立時よりその運営に協力させていただいています。山菜料理教室や、春秋のトレッキングなど、花背でしか体験できない多くのメニューに参加下さった皆さんと共に交流を深め合う絶好の機会となっています。



A: 花脊・山村都市交流の森



B: 安祥寺山・ふれあいの森

近畿中国森林管理局と当会が協定を結び、H12年から当会のメイン活動拠点となっています。H19年2月には「東山の国有林散策と炭焼き体験」を一般応募者とともに行いました。



C: 府民の森ひよし

府民が森林体験できる施設として当会では会員向けの研修を行ったり、自然観察会の指導や、「子ども樹木博士プログラム」の取組みなどを行っています。



D: 衣笠山「遊々の森」

子ども達の自然観察会や鳥の巣箱掛けなど、都会の子どもたちに自然とのふれあいを提供できる体験活動です。小さい頃からの環境教育として、全国的にも注目されています。



E: 京都御苑

御所南小学校や京都生協など、多くの自然観察会の要請がありました。特にせみの羽化観察会は10年間にわたって取り組んでまいりました。



F: けいはんな花空間

モデルフォレストの事業として、企業参加の里山での下刈りや植樹に汗を流しました。



G: 天ヶ瀬ダムサイト

国土交通省の「森と湖に親しむ旬間」イベントの一環で、見て、ふれて自然とダムとの不思議を知ろうをテーマに、親子を対象にした自然観察会と木工クラフトの出前支援を行っています。



H: みんなの木

朝日放送さん主催の事業としてH19年より始まりました。放送局に応募のあった府内の小学校・幼稚園に向いて植樹および緑の授業を実施しています。



I: モデルフォレスト

京大・桂キャンパスの竹林や府内各所の森林で、モデルフォレストのイベント支援に指導スタッフとして活躍しています。



J: もったいないキッズ

ローソンが実施している緑の基金イベントで、H19年には地元の小学生とともに梅小路公園にイロハモミジを植樹しました。



# 京都森林インストラクター会のあゆみ

## 創 生 期 (平成10~12年)

会員19名でスタートした活動は、会員相互の研修と親睦を図る期間でした。活動は自主参加とし、少ない人数ながら出来ることからやっという身近な活動拠点と限られた支援行事のなかで、お互いのレベルアップと支援内容の充実を目標に頑張りました。地道な活動に対して、安祥寺山国有林を当会の活動フィールドとして提供をいただき、「府民の森ひよし」や京都市花背の「山村都市交流の森」など、年間行事の支援に会を挙げての活動基盤づくりが始まった時期でもありました。



三川合流イベント・会員総出で対応しました  
八幡市の背割り公園にて(自然観察など)



森林教室・緑の少年団  
宇治市総合野外活動センターにて



森林倶楽部・自然散策と樹木観察会  
醍醐山国有林を東山トレイルに沿って



亀岡親子劇場のキャンプ集会  
府民の森ひよしにて

## 展 開 期 (平成13~16年)

各種団体からの依頼も増え、行事参加者が1,000名を超える規模に拡大し、その人数は年15%以上の増加で、多くの方々との交流と支援が出来るようになりました。「緑と水の森林基金」からの支援をいただき、安祥寺山の拠点整備が緒についた時期でもありました。子どもから大人までを対象に進めてきた活動ですが、子ども教育にも力を入れて金閣小学校の、「遊々の森」総合学習がスタートし今日に至っています。森林に関心を持ってもらうために「子ども樹木博士」プログラムを各地で展開したのもこの時期でした。



安祥寺山定例活動



子供樹木博士認定会



会員総会と炭焼き研修



せみの羽化観察会



つるのクラフト作り



御苑の自然観察会

## 飛 躍 期 (平成17年~)

当会の会員を対象にした行事と、各種団体への支援行事を合わせ年間60回程度の活動を行い、参加者1,800余名/年、と多くの方々との交流をさせていただきました。活動拠点の整備には「イオン財団」からの助成をいただき、今後の受入れ態勢も充実することが出来ました。自然環境重視の潮流と、団塊世代の森林愛好家の増大が見込まれるなか、私たちの森林文化貢献への重要性を改めて認識しているところです。

10年前、いつか多くの方々から森林を求められ「山で本気のお付き合いが始まる」……皆が信じて続けて、早10年の歳月が流れました……



野外料理教室



間伐体験教室



子供樹木博士認定会



森林整備体験



里山整備体験



みんなの木・記念植樹



竹林整備「竹の環プロジェクト」



木工クラフト出前教室



# 安祥寺山

# ふれあいの森

## 安祥寺山「ふれあいの森」とは・・・

近畿中国森林管理局（京都大阪森林管理事務所）が「ふれあいの森」として設定した安祥寺山国有林において、平成12年から当会と協定を締結しました。60haの区域をフィールドとし、会員等が中心となって、会員の相互研修や、子供から大人まで幅広く森林整備（間伐・下刈など）や森林教室などの活動をしている森です。

## 「ふれあいの森」概要

位置: 安祥寺山国有林19林班  
面積: 60ha  
樹種: 針葉樹30%、広葉樹ほか70%  
林種: 土砂流出防備保安林、風致地区ほか  
協定契約先: 近畿中国森林管理局  
(京都大阪森林管理事務所)  
契約期間: 第1次(H12~H14、3ヶ年)  
第2次(H15~H19、5ヶ年)  
第3次(H20~H24、5ヶ年)  
協定目的: ふれあいの森における森林整備等の活動が円滑に実施されることを目的とする



山野草教室H19年4月



ヒノキ林内で講義H15年2月



瀬田南スポーツ少年団  
(間伐体験)H17年1月



炭焼体験H19年12月

## 活動内容

- 定例活動: 毎月1回会員研修ほか
- 過去の主な活動
- H12年度: 植樹、ボランティアリーダー研修
- H13年度: 間伐、下刈、ボランティア養成研修
- H14年度: 間伐、歩道作設、作業小屋建設(国土緑水助成)、子ども樹木博士のプログラム実施
- H15年度: 下刈、間伐、野外料理、倶楽部、緑懇会などとの交流
- H16年度: 労農市民会議京都樹木探検隊、高槻里山ネットワークほか支援
- H17年度: 作業小屋建設(イオン環境財団助成)、瀬田南スポーツ少年団(間伐体験)、朝日新聞トレッキング&間伐支援ほか
- H18年度: 樹木50選トレッキングコース設定、清水小学校(間伐体験)、朝日新聞トレッキング&間伐支援
- H19年度: 記念植樹等の活動(イオン環境財団助成)、ドラム缶炭焼体験、春の山野草教室ほか



清水小学校(間伐体験)  
H18年11月



近畿労農市民会議  
(クヌギ苗植樹)  
H16年4月



丸太階段の設置  
H16年12月



# 衣笠山遊々の森

## 金閣小学校

### 遊々の森では・・・

京都森林インストラクター会では、平成13年から京都市立金閣小学校の児童を対象に学校近くの衣笠山国有林で、秋に自然観察、冬に巣箱かけやキノコの菌打ちなどの指導を行っています。

平成15年には林野庁京都大阪森林管理事務所と同小学校の間で国有林の環境教育利用について協定が結ばれ、以後当会は同管理事務所からその企画指導を委嘱されています。

継続して小学校の環境教育に関わっていることから、各種研究会などでたびたび報告する機会があり、賞をいただいたりもしています。

元気いっぱいの小学生と過ごす時間は、普段の仕事よりずっと疲れますが、子どもたちの笑顔と、「楽しかった」、「また来てな！」などの感想を聞くと、担当するスタッフの疲れも吹き飛びます。

次代を担う子どもたちに、自然の素晴らしさや楽しさを伝える、当会の主要な活動の一つです。

### 3年生森林教室（自然観察）の様子



「三年とうげ」のガマズミ

三年とうげ(国語の教科書)・・・秋には、かえで、がまズミ、ぬるでの葉が美しく色づきました・・・



森林観察後  
学校へ戻りQ&Aタイム



拾ったどんぐりで  
キーホルダー作り



拾った落ち葉で  
下敷き工作

### 4年生巣箱かけの様子



まず、鳥の生態、  
鳥の巣、巣箱に入る  
鳥などの勉強

京都府産スギの間伐材を使用することから、なぜ木材を使うのかを勉強



みんなで巣箱かけ



再利用する巣箱  
には「鳥の表札」  
を打ち付けます。



シジュウカラ、  
ヤマガラが  
営巣しました



### 5年生キノコ菌うちの様子



イラストマップを  
作成しました。  
学習のふりかえり  
の時間に活用し  
ています。

キノコについて学習した後、ほだ木にドリルで穴を開けて菌打ちをし、シイタケやナメコのほだ木を作りました。



シイタケ、ナメコ発生中！





# 花脊

## 山村都市交流の森

### 山村都市交流の森では・・・

左京区にある「花脊山村都市交流の森」の企画イベントに、当会発足当初（平成10年）から協力しています。山村都市交流の森は花背から久多にまたがる約1,000haもの広大な森林フィールドです。この地域は京都府内でもとりわけ豊かな自然に恵まれ京都市民のいこいの場としての役割を持っています。都市住民と山村の暮らしを結び交流を深めるため四季折々開催される 行事の支援を行っています。

#### 行事支援:

平成12年から本施設を管理する花脊森林文化財団と契約を交わしました。

#### 山菜料理教室



自分たちで採取した山菜をその場で美味しくいただきます！



#### 花脊山村都市交流の森概略図



四季折々イベントを開催してますぜひ遊びにきてください



春は新緑、秋は紅葉、八丁平周辺の自然を求めてトレッキング等行っています。

毎年秋にクラフト教室を支援。もちろん材料は花脊産・・・

共同企画で四季を通じて多くのイベントが開催されています。その一コマ・・・





# 府民の森ひよし & モデルフォレスト

## 府民の森ひよしでは・・・

京都府立「府民の森ひよし」は、府民が森林体験できる施設として、平成12年4月にオープンしました。当会では、本施設の発足当初から会員向けの研修を実施したり、樹木観察会の指導や「子ども樹木博士」の取り組みなどを行っています。

また、平成18年度に発足した、(社)京都モデルフォレスト協会は、この運動を推進するために本施設を森林体験教室のフィールドとして活用しており、当会は同協会の「森の人材バンク」登録団体として指導面で協力しています。

H12年オープン当初から自然観察や自然観察や木エクラフト作りなどを行っており、作業モノレールに乗車できるなど、アクティブな森林体験が好評です。



新緑祭・散策ツアー(H19年5月)



## <モデルフォレストの取り組み紹介>

荒廃する森を分析、樹木の密度や手入れ状況など総合診断。みんなで健康な森作りを目指している。



森の健康診断(H19年2月)

初めての間伐体験で、木が倒れる瞬間にみんなびっくり!! のこぎりを使うのも今日がはじめて・・・、うまくできたかな。



キャンプ集会の支援(H12年8月)

会員の学びと体験を・・・、会員総会、グループに分かれて炭焼き体験競技会。夜を徹して火のおもり、酒は上手いし話がはずむ。炭は上出来、満足満足。



府民の森ひよし・当会総会および炭焼き(H14年3月)

京都の森を守り育てる  
京都モデルフォレスト運動

森を元気にする仲間 募集中!

**モデルフォレストとは**  
1990年の世界植樹の日を記念し、森林の緑と土の豊かさを増進するための実践活動のことです。ナガサキでは、モデルフォレスト運動の一環として、自然観察、木エクラフト、活用・森林生態系調査・樹木観察会・環境教育・水質調査、生き物観察の調査など、思いがけず行われています。市民ボランティアやNPO・NGO・企業・自治体と連携することにより、地域での森林の持続可能性が実現されているのです。  
このモデルフォレストの取り組みは、京都府立、市町村、40地域に広がっています。

**京都の森林づくりにご参加ください!**  
京都府の森林は、地域の防災・防災ネットワークのため、地域活性化の推進、自然の保全など多様な役割を持つ貴重な資源の豊かさを保ちます。  
しかし、社会経済環境の変化に伴い、放置された荒れた森林が増え、森林の健全さが低下し、森林の保全が困難になっています。

**例えば、管理が十分でない人工林では**

- ① 樹木が倒壊し、土壌が流出し、水質汚染の原因になります。
- ② 間伐や伐倒作業を怠ると、森林の健全さが低下します。
- ③ 下草が茂り、多様な生物が生息する環境が失われます。

**例えば、荒れた山域では**

- ① 樹木が倒壊し、土壌が流出し、水質汚染の原因になります。
- ② 間伐や伐倒作業を怠ると、森林の健全さが低下します。
- ③ マツノ山、ヒノキ山、杉山の森、自然の豊かさを失い、生態系が壊れます。

**例えば、放置された竹林では**

- ① 竹が倒壊し、土壌が流出し、水質汚染の原因になります。
- ② 間伐や伐倒作業を怠ると、竹林の健全さが低下します。
- ③ 竹の倒壊による土壌の流出、水質汚染の原因になります。



# 会員研修・講習会

当会では、会員研修として様々な取り組みを行っています。森林についての理解を深めるため、府内各地の森林に出かけました。また、宿泊を伴う研修では、夜の貴重な情報交換も会員一人ひとりにとって楽しくまた効果の上がるものです。設立初期には総会と研修を兼ねて、炭焼きなどを行いました。知識ばかりでなく、間伐や道づくりなどの作業も定例活動として安祥寺山国有林で行っています。さらに全国の森林インストラクターを対象とした研修会を開催したり、これから資格試験に挑戦する人を対象にした試験対策研修会なども行いました。また、幅広く森林や樹木に関する知識を得るため各分野の専門家を招いて講演会も開催しています。

## 宮津研修



設立初年度の宮津での宿泊研修  
しんと雪の積もる夜でした



雪の中湿原をたずねる

## 資格試験直前研修



会長の講義



合格めざし熱心な受講生

## 安祥寺山での研修：間伐～丸太生産



間伐



皮むき

野外での昼食も  
また格別です！



丸太生産

毎月の定例活動は  
技術・知識の向上  
や伝承、会員相互  
の情報交換や親睦  
などよき交流の場  
となっています

## 全国森林インストラクター会研修

大文字山



全国の会員  
向け研修も  
開催されて  
います



京都大学  
上賀茂試験地

## その他の会員研修および講演会



森林セラピー講演会



東本願寺での巨大な構造物に驚嘆



台スギめざして



片波川台スギ群